

【活動事例の紹介】

教室名

石原小学校放課後子供教室

取組内容

(1) 実施内容

- 5年生対象の校庭でのキャンプファイヤー
石原小学校の親友の方々に準備・火の管理・
片付けを行っていただいた。
- 卓球教室（1月実施予定）
- 逃走中（1月実施予定）

(2) 事前準備

親友と5月に行った木の剪定時にでた木を切り、薪として活用した。また、地域の材木店から寄付していただいた木も活用した。薪を組むことも一緒に行った。

(3) 当日の様子

当日は、5年生112人と親友10人、石原小職員が参加した。子供たちは帰宅せずに、キャンプファイヤーまでの時間を教室で過ごした。司会や火の子なども設定して、子供たちが主役のキャンプファイヤーにした。途中、親友の方々や石原小職員も歌やダンスに参加し、大変盛り上がった。



【火の神・火の子】

工夫した点・ポイント

昨年度は、コロナ禍の影響のため、5年生の林間学校でのキャンプファイヤーが中止になり、代替として校庭でのキャンプファイヤーを実施した。今年度は宿泊での林間学校を実施する予定だったが、直前で中止になり、延期しての日帰り林間学校となった。最終的には今年度も代替としてのキャンプファイヤーとなったが、毎年続けていく仕組みを構築している。

当日は7時間授業の実施や軽食の持参を行った。校庭での実施だったので、職員が多数参加できた。



【みんなでダンス】

成果・今後の展望

コロナ禍の影響で実施できなかった活動も、徐々に実施できるようになってきた。子供たちは終始楽しそうな表情だった。また、疲れるほど走ったり踊ったりしたが、保護者の迎えだったので、下校も安全に実施できた。

コロナ禍で様々な工夫を余儀なくなれたが、形骸化しているものは廃止し、必要なものは新しい形で実施していく。



【校庭を広く使って】